

放送システム委員会での主な指摘事項

- 作業班1及び作業班2の措置事項で、項目及び内容が合わせられる事項は極力合わせる。例えば、耐震対策における想定震度が違っていたり、同じ誘導対策という項目ではあるが、意味合いが異なっていたりなど。
- 全般的にあいまいな表現が多いので、措置の内容の明確化に努めること。
- 措置と対象設備の対照表については、可能な限り対策することの重要性に配慮しつつ、また、メディア間で極力差がないように調整すること。差が生じるのであれば、措置できない理由を明らかにすること。
- 電源設備の供給能力の確保については、措置として規定する必要性が薄く、整理が必要。

以上